

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
①【公益目的事業】			
第一 指導・普及事業			
【目的】			
・正しいサッカー及びフットサルを普及するために、県民に対して、健全で安全なスポーツ環境を提供する必要がある。これを実現するためには、何よりも先ず、指導者と審判員の養成とその質の向上が不可欠である。指導者と審判員は、児童や青少年の各年代の身体的、技術的な発達度合いに応じた適切な指導方法を体得し、正しいルールを理解する必要がある。正しい指導ができる指導者と審判員のもとで、安全に継続して楽しみながらプレイすることが、児童や青少年の健全な発達を促し、可能性を引き出し、素質を開花させることに繋がる。			
1. 選手及び指導者育成事業			
【内容】			
・当該事業は、選手の育成・強化を通じて競技力の向上を図り、指導者を養成して埼玉県民のサッカーのレベルアップを図ることにある。			
C級コーチ養成講習会	72人	通年(年3コース)	埼玉スタジアム他
D級コーチ養成講習会	72人	通年(年3コース)	県内学校等
キッズリーダー養成講習会 U-10コース	40人	通年	県内各地
キッズリーダー養成講習会 U-8コース	40人	通年	県内各地
キッズリーダー養成講習会 U-6コース	40人	通年	県内各地
C・D級コーチリフレッシュ研修会	240人	7月～3月	県内学校等
A・B級コーチ推薦選考会	30人	12月23日、1月11日	東京国際大学
県トレセンU-12		年間	各地
県トレセンU-13、U-14、U-15		年間	各地
県トレセンU-16		年間	駒場サブグラウンド他
県GKTレセン		年間	駒場サブグラウンド他
女子トレセンU-12、U-14、U-15、U-18		通年	各地
女子GKTレセン		通年	各地
関東トレセンリーグU-12、U-13、U-14、U-15、U-16		年間	各地
トライアルSFA		各月2～3回程度	県内中学校・高校
キッズ(U-10)エリートマッチ	200人	12月	埼玉スタジアム
2. 審判員養成事業			
【内容】			
・本法人が主催する競技会は、日本協会が認定する有資格者の審判員によって行うことが前提となっている。公認3級及び4級の審判員の養成は、都道府県サッカー協会が担当するため、本法人では日本協会の審判資格体系に基づく審判資格認定講習会を実施し、資格の認定を行う。また、有資格者の資質を高めるための研修会(審判トレセン)、資格更新のために行う更新講習会、審判の指導や評価を行うインストラクター養成講習会等を実施する。さらに各種大会に審判員やインストラクターを割当て、派遣することも行う。			
3級審判インストラクター研修会		通年(8回)	県内
上級審判員研修会		6月	県内
女子審判養成研修会		4月～3月	駒場サブグラウンド他
県内市町村等開催審判勉強会等		通年	県内
レフリートレセン		通年(年11回開催)	県内
4級審判員新規講習会		通年	県内各地
2・3級審判更新講習会		9月～12月	県内東西南北+救済
2級審判員体力テスト		偶数月(年6回)	県内
3級昇級審査		偶数月(年6回)	県内各地
各種大会等アセッサー派遣		通年	各地
3. 広報紙発行事業			
【内容】			
・本法人が主催する各種大会の状況、最新のトピックを取り上げた広報紙「SFA NEWS」を、全加盟チーム及び関係者に配布する。また、全文をホームページに掲載している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金である。			
SFAニュース(ウェブサイト機関紙)発行		年6回	
4. ホームページ運営事業			
【内容】			
・本法人の組織、事業、競技会、委員会、連盟等の全ての情報を提供し、内容を日々更新してタイムリーに情報を発信している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金及びホームページ運営協賛金である。			
ホームページ運営管理		通年	

5. 地域での普及事業				
(1)キッズプログラム				
【内容】				
・埼玉県教育委員会を通して希望する幼稚園・保育園・小学校へ、日本協会の認定を受けた指導者を無料で派遣する巡回指導を、主として実施している。年間約40の園・学校を巡回する。他に、栄養講座や1日のサッカースクールなどがある。				
栄養講座	6回	6時間		県内
キッズ巡回指導	40回	40時間		県内幼稚園・保育園
(2)キッズフェスティバル				
【内容】				
・幼稚園年長児(U-6)や小学校低学年児童(U-8、U-10)を対象として、サッカーに親しむ場を提供する事業。				
JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル	80チーム	年間2回		県内
JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル	40チーム	年間1回		県内
JFAキッズ(U-10)サッカーフェスティバル	40チーム	年間1回		県内
JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバルユニクロサッカーキッズ!	120チーム	年間1回		西武ドーム
(3)レディース、ガールズ・サッカーフェスティバル				
【内容】				
・女子を対象としたサッカーに親しむための普及事業。スクール形式やオープン参加の試合形式のもの等がある。				
JFAレディースサッカーフェスティバル2013	100人	年間2回		県内
JFAガールズサッカーフェスティバル2013夏	100人	8月		鴻巣市陸上競技場
JFAガールズサッカーフェスティバル2014春	100人	2月		埼玉スタジアム
(4)スポーツ・インターンシップ	20校、50人	通年		県内中学校
【内容】				
・県内の大学生が将来教員を志望し、また、中学校サッカー部の指導を行いたい者に、本法人が公認C級コーチのライセンス取得に協力し、取得後に県内中学校の部活動のインターンを経験してもらう事業である。大学生の指導者志向の拡大、中学校の部活指導者の量的拡大も期待するもので、埼玉県教育委員会との共同開催事業である。				
6. スポーツマネジャー養成事業				
【内容】				
・スポーツイベント、クラブ経営等のマネジメント能力を有する人材養成を目的とする講座。多くの県民への受講の機会を広げるために、日本協会が行っているスポーツ・マネジャーズ・カレッジ(SMC)講座を簡易版として提供する事業。スポーツビジネス、クラブ経営、財務などの7セッションを実施する。当事業の財源は、受講料である。				
JFAスポーツマネジャーズカレッジサテライト講座in埼玉	40名	2月		県内
7. その他の普及事業				
【内容】				
・埼玉県内の市町においてサッカーの普及振興を行い、本法人に届け出た団体(以下、市町協会)及び本法人の加盟チームによって結成され、本法人が設立許可した各連盟に対し、運営助成金を支給している。当事業は収益事業等の収入を財源としている。				
市町協会への助成金		通年		
各種連盟への助成金		通年		
全日本少年サッカー大会U-10イベント		6月		埼玉スタジアム

第二 競技会開催事業			
【目的】			
<p>・試合は、選手のパフォーマンスの表現の場であり、日頃積み重ねた練習の成果を確認する場である。選手は観客に観られることで成長し、試合の競い合いを通じて更に進化する。こうした機会を、サッカー及びフットサルに親しみたい多くの人たちへ提供するために、年代別、性別、地域や自治体別などに競技会を組織し、各種の競技会を主催又は関連団体と共同して開催する。競技会開催を通じて、県民のスポーツへの関心と理解を深め、青少年の健全な育成と生涯スポーツの推進をめざす。また、地域との連携を図ることにより、コミュニティの絆を深め、地域活動の健全な発展に寄与する。</p>			
1. 主催事業(種別)			
【内容】			
<p>・本法人が、運営に関する事項を決定できる権限と責任を負う競技会を開催する事業である。具体的には、大会要項に記載する事項(会場、スケジュール、参加資格、競技方法、競技規則等)を、本法人が責任を持って決定し、直接主催する。</p>			
第1種			
彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会(決勝大会)	8チーム	7月～8月	熊谷スポーツ文化公園他
1種選手権大会	8チーム	2月～3月	熊谷スポーツ文化公園他
埼玉県社会人連盟会長杯1次予選(各地区)兼彩の国カップ予選	112チーム	11月～1月	県内各地
埼玉県社会人連盟会長杯2次予選兼彩の国カップ予選	112チーム	1月～3月	県内各地
彩の国カップ大学代表決定戦	18チーム	3月	県内各地
総理大臣杯埼玉県代表決定戦	16チーム	4月	各大学グラウンド他
埼玉県大学サッカーリーグ	16チーム	5月～12月	各大学グラウンド他
第2種			
埼玉県サッカーU-16リーグ	32チーム	5月～12月	県内各地
埼玉県サッカーU-18リーグ	24チーム	4月～2月	県内各地
全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会1次予選	167チーム	8月	学校会場
全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会2次予選リーグ	24チーム	10月	県内各地
全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会2次決勝トーナメント	16チーム	10月～11月	埼玉スタジアム他
彩の国カップ埼玉県サッカー選手権(クラブ連盟内予選)	5チーム	4月～6月	県内各地
第3種			
埼玉県U-15サッカーリーグ	10チーム	3月～9月	県内各地
埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会兼高円宮杯U-15県予選	32チーム	8月～10月	県内各地
埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会	16チーム	1月～2月	県内各地
高円宮杯全日本ユース(U-15)選手権埼玉県中学校1次予選	380チーム	4月～7月	中学校会場
高円宮杯全日本ユース(U-15)選手権埼玉県中学校2次予選	52チーム	7月～8月	県内各地
埼玉県ユース(U-13)中学校1次予選	340チーム	10月～12月	中学校会場
埼玉県ユース(U-13)中学校2次予選	42チーム	12月～1月	県内各地
日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会埼玉県予選	64チーム	4月～6月	県内各地
高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会埼玉県クラブ大会	54チーム	3月～11月	県内各地
埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会クラブ大会	53チーム	10月～1月	県内各地
第4種			
埼玉県第4種リーグ戦	380チーム	4月～11月	県内各地
埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会	50チーム	12月	埼玉スタジアム他
全日本少年サッカー大会埼玉県大会	489チーム	6月	埼玉スタジアム第2G
埼玉県第4種新人戦中央大会	16チーム	2月	埼玉スタジアム第2・3G
ポカリスエットU-10サッカーリーグ(in埼玉)	170チーム	5月～2月	県内各地
ポカリスエットU-11サッカーリーグ(in埼玉)	120チーム	5月～2月	県内各地
女子			
埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会	16チーム	4月	妻沼運動公園他
埼玉県女子サッカー大会(兼)関東・全日本女子サッカー選手権大会	43チーム	5月～6月	県内各地
JFA関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会	12チーム	7月	さいたま市西遊馬運動公園
埼玉県少女サッカー大会県中央大会	12チーム	10月	白岡市総合運動公園陸上競技場
埼玉県女子サッカー選手権大会(埼玉県サッカー協会会長杯)	4チーム	12月	県内各地
シニア			
県民総合体育大会(シニアの部)兼日本スポーツマスターズ埼玉県予選	30チーム	9月～11月	熊谷スポーツ文化公園他
埼玉県サッカー協会会長杯/県シニアサッカー選手権(O-40)兼関東シニア選手権県予選	35チーム	12月	九里学園グラウンドほか県内各地
フットサル			
埼玉県フットサルリーグ 1部	10チーム	4月中旬～12月末	県内体育館
埼玉県フットサルリーグ 2部	10チーム	4月中旬～2月末	県内体育館
埼玉県フットサルリーグ 3部	12チーム	5月～2月	県内体育館
埼玉県女子フットサルリーグ	8チーム	4月中旬～12月末	県内体育館
全日本ユース(U-15)フットサル大会 埼玉県大会	10チーム	8月初旬～10月中旬	県内体育館
バーモントカップ全日本少年フットサル大会 埼玉県大会	24チーム	8月初旬～10月中旬	県内体育館
全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会	10チーム	8月初旬～9月中旬	県内体育館
PUMA Cup 全日本フットサル選手権大会 埼玉県大会	36チーム	9月初旬～11月末	県内体育館

2. 受託事業(委託元別)				
【内容】				
・本法人が、競技会運営の主管を担う事業であり、主催者は日本協会及び関東サッカー協会等である。競技会運営の権限と責任はすべて主催者側にある。				
日本サッカー協会				
天皇杯全日本サッカー選手権大会	7試合	9月～12月	埼玉スタジアム・浦和駒場・熊谷	
国際試合	1試合	6月	埼玉スタジアム2002	
皇后杯全日本女子サッカー選手権大会	2試合	12月	浦和駒場・NACK5	
全国社会人サッカー大会関東予選		6月～7月	関東各地	
関東サッカー協会				
関東大学サッカー大会	8チーム	11月	県内大学グラウンド 他	
埼玉県				
埼玉国際ジュニアサッカー大会	24チーム	7月	埼玉スタジアム他	
3. 補助事業(種別)				
【内容】				
・各連盟等が主催する競技会を、本法人が後援する事業である。当事業では各連盟のチーム加盟費及び選手登録費の総額に応じて補助金を交付する場がある。				
なお、受託及び補助事業における競技会においても、本法人から人を派遣し、競技会運営が要項に則って適切に行われることを担保している。当事業の財源は、競技会参加料、日本協会及び関東サッカー協会等からの補助金、各連盟からの負担金、日本協会からの受託金、入場料、大会プログラム販売収入、企業等からのプログラム制作協賛金及び大会協賛金である。				
第1種				
県社会人サッカーリーグ1部、2部、3部	77チーム	4月～11月	各地	
全国クラブチームサッカー選手権県大会	50チーム	5月～7月	各地	
社会人リーグ選抜交流戦	6チーム	7月～1月	熊谷スポーツ文化公園他	
市町村対抗戦兼県民総合体育大会	30チーム	7月～9月	各地	
各地区ブロックリーグ決勝大会	36チーム	10月～11月	各地	
全国自治体職員サッカー選手権大会県予選	12チーム	4月～5月	さいたま市	
埼玉県大学選抜合宿	16チーム	11月	各地	
第3種				
埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会1次リーグ	54チーム	3月～9月	県内各地	
埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会決勝トーナメント	36チーム	10月～11月	県内各地	
埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会1次リーグ	68チーム	5月～11月	県内各地	
埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会決勝トーナメント	36チーム	12月～1月	県内各地	
第4種				
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12会長杯	32チーム	5月～6月	埼玉スタジアム他	
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-10大会	32チーム	8月	埼玉スタジアム他	
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12大会	24チーム	9月～10月	埼玉スタジアム他	
U-12彩の国さいたまCUP	18チーム	1月	埼玉スタジアム他	
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-11大会	32チーム	1月～2月	埼玉スタジアム他	
埼玉県クラブユースサッカー選手権U-9大会	30チーム	3月	県内各地	
女子				
埼玉県女子サッカーリーグ	21チーム	4月～12月	各地	
埼玉県女子ユース(U-15)サッカーリーグ戦	16チーム	5月～12月	県内	
埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会	33チーム	8月～10月	県内	
埼玉県U-10少女サッカー育成・交流大会	25チーム	2月	県内	
選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷	48チーム	3月	熊谷市内	
埼玉県女子ユースサッカー選手権大会(兼)関東女子ユース選手権県予選	7チーム	8月～9月	県内	
シニア				
第6回埼玉県サッカー協会会長杯兼シニアリーグ「40 I 部」兼関東シニア選手権大会埼玉県予選	12チーム	3月～11月	県内各地	
埼玉県シニアサッカーリーグ「40 I 部/南部/北部」,50, 60, 65, ロイヤル	67チーム	3月～11月	県内各地	
第2回埼玉スーパーシニア(O-70)サッカー大会	12チーム	5月	埼玉スタジアム2002/第2他	
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/1・2回戦	21チーム	9月	古河スカイG	
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/準々決勝、準決勝	21チーム	10月	東松山サッカー場	
第9回関東シニアサッカー埼玉大会(60, 65, 70)	24チーム	10月14日	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他	
第11回埼玉県シニアサッカー選手権(O-50)兼全国シニア大会埼玉予選/三位決定戦、決勝戦	21チーム	11月24日	熊谷スポーツ文化公園補助競技場	
フットサル				
埼玉県フットサルU-18大会(リーグ)	6チーム	4月～3月	県内体育館	
全日本大学フットサル大会 埼玉県大会	4チーム	5月～6月	県内体育館	
フットサルリーグ参入戦入替戦	7チーム	3月	県内体育館	
埼玉県フットサルリーグ 4部オープンリーグ	25チーム	7月～12月	県内体育館	
埼玉県U-12/U-15フットサルリーグ	16チーム	4月～12月	県内体育館	
全日本女子フットサル選手権大会 埼玉県大会	10チーム	8月	県内体育館	

第三 代表関連事業			
【目的】			
・県民にサッカーに対するより一層の興味を惹かせ、理解を深めるためには、埼玉県内においてサッカーの素質ある者を、埼玉県を代表する選手に育て、更に日本トップレベルへと引き上げ、ひいては世界へと送り出す育成強化の取り組みが不可欠である。都道府県単位の参加による競技会である国民体育大会の競技会をはじめとする県内外の活動や、海外交流などのグローバルな活動を通じて、更なる競技力向上をめざす。日々たゆまぬ努力を続け、競技力を高め、夢や目標の実現に向かってチャレンジする姿は、広く県民に勇気や生きる力を与える。また、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養することにも繋がる。			
【内容】			
・国民体育大会におけるサッカー競技の埼玉県代表チームの編成を行う事業である。サッカー競技は、成年、女子、少年の3種別あり、本法人の技術委員会が中心となって強化方針、監督・スタッフの人選、チーム編成等を協議し、決定する。それぞれの監督・スタッフは代表選手の選考を行って、関東ブロック大会、本大会に臨む。また、日本のトップレベル、世界をめざし得る逸材を育てるために、競技力向上の事業を展開する。当事業の財源は、日本協会、埼玉県、及び(公財)埼玉県体育協会からの補助金、協賛企業からのユニフォーム等の物品提供である。			
国民体育大会関東ブロック大会		8月	神奈川県
国民体育大会		10月	東京都
全国大会参加チーム支援			
②【収益事業】			
第一 手数料収入及び物品販売事業			
【目的】			
・各種の手数料収入や、プーマ製品及び代表選手のカレンダー等のサッカー関連物品の販売収益をもって、公益目的事業を推進するための事業である。			
③【その他の事業(相互扶助等事業)について】			
第一 チーム及び選手登録事業			
【目的】			
・本法人の行うサッカーの指導・普及、競技会開催、代表関連、施設管理の各事業は、本法人が加盟する日本協会と連動して行われるチーム加盟及び選手登録が基本条件となっている。そして、この登録等の手続きは、誰でもサッカーを楽しむことができるようにと、あらゆる年代と性別をカバーするように制度化されている。チームに登録された選手は、その種別において行われる全ての競技会、研修会、その他のイベントに参加することができる。			
【内容】			
・ チーム加盟及び選手登録の種別は、以下のとおりであり、選手はそのいずれかに登録する必要がある。 ア 第1種 年齢を制限しない選手により構成されるチーム イ 第2種 概ね高校生年代の選手により構成されるチーム ウ 第3種 概ね中学生年代の選手により構成されるチーム エ 第4種 概ね小学生年代の選手により構成されるチーム オ 女子 女子の選手により構成されるチーム カ シニア 40歳以上の選手により構成されるチーム キ フットサル 5人制のサッカー、個人登録			